

NANTAN

119だより

NANTAN
FIRE DEPARTMENT
2015

No. 8



消防教室（和田山子育て学習センター）

災害状況



平成27年1月～
10月20日までの件数

- ・火災… 26件
- ・救急… 2,497件
- ・救助… 63件

主な内容

特集

住宅用火災警報器に関する調査結果 … 2・3

- ◆ 水難・急流救助訓練
養父市・朝来市一斉避難訓練 …… 4
- ◆ 平成27年度防火ポスター入選発表 …… 5
- ◆ 消防写真館・消防白書 …… 6
- ◆ 感謝状の贈呈・火災調査レポート …… 7
- ◆ お知らせ …… 8

住宅用火災警報器に関する調査結果



消防本部では、住宅用火災警報器（以下、「住警器」という。）に関する住民の皆さんの意識と設置状況及び維持管理状況を探るため、昨年度に続き養父・朝来の両市でアンケート調査を実施しました。

今回は両市内の居住者800人を対象に実施したところ、336人（42.0％）から回答があり、84.2％という設置率が得られました。

この設置率のほか、住民の皆さんが住警器に関してどのような意識を持っておられるかなどを把握し、今後の住警器の設置率向上、適正な維持管理の推進と、住宅防火対策の推進に役立てたいと考えています。

地域別住警器の設置状況

住警器を「既に設置している」と答えた人は336人中283人（84.2％）でした。

（図1参照）

平成27年6月1日時点の全国の設置率81.0％と比べると3ポイント上回っています。

また、その設置率以外に「まだ設置していないが、すぐに設置しようと思ってる」と答えた人が20人（5.9％）、「リフォームなどの機会を待つて設置したい」が13人（3.9％）あり、既に設置している人を合わせれば、今後の設置率は94.0％を見込むことができるようになります。

なお、各地域別の設置率をみてみると、一番高かったのが朝来の93.5％、次いで和田山の91.4％、以下、生野が90.0％、山東が87.5％、八鹿が79.2％、大屋が77.8％、関宮が76.9％、養父が72.3％でした。

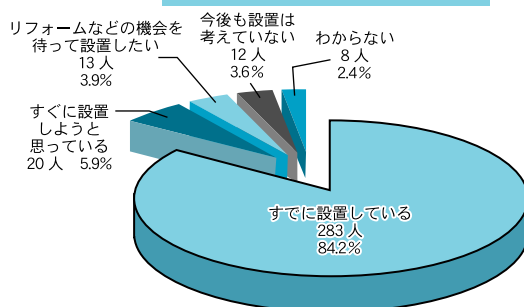
（表1参照）

一方、「住警器をまだ設置していない。今後も設置は考えていない」と答えた人が12人（3.6％）ありましたが、設置を考えていない理由に

表1 地域別設置数

区分	合計	八鹿	養父	大屋	関宮	生野	和田山	山東	朝来
回答数	336	48	47	36	26	20	81	32	46
設置している	283	38	34	28	20	18	74	28	43
設置していない	53	10	13	8	6	2	7	4	3
設置率	84.2%	79.2%	72.3%	77.8%	76.9%	90.0%	91.4%	87.5%	93.5%

図1 住警器の設置状況



ついで尋ねると、「設置効果がわからないので」という人や、「値段が高いので」「自力では設置できないので」「借家・賃貸のため自分で設置できない」という理由でした。

まず寝室に設置を

次に住警器の設置場所について、火災予防条例では『原則として寝室に設置し、寝室が2階以上にある場合は階段上部にも煙式の警報器を設置することとなっておりますが、「ご存知ですか」と尋ねると、「よく知っている」と答えた人が161人(47.9%)ありました。また、「だいたい知っている」と答えた人も103人(30.7%)あり、条例で定められた設置場所については多くの人が理解されているようです。

ただし、条例では定められてはいないものの、多くの方が「台所」で設置されていたのが「台所」でした。やはり、火を使用する機会が多いことからの数値かと思われます。続いて「1階寝室」「2階寝室」「寝室がある2階の階段踊り場」「廊下」などといった順になっています。

住宅火災による死者を防ぐためにも、条例の規定どおり寝室や階段上部への設置を強く呼びかけたいと思います。

住警器の維持管理

住警器は電池切れが近くと『火災の音とは違う音で知らせたり、ランプがある場合には点滅して知らせたりしますが「ご存知でしたか」と尋ねると、「知っていた」という人が134人(39.9%)、「知らなかった」という人が171人(50.9%)、「知っていたが交換方法がわからない」という人が5人(1.5%)、「交換したことがある」という人が3人(0.9%)、無回答が23人(6.8%)という結果でした。

続いて、住警器は古くなる電子部品の寿命などで、火災を感知しなくなる可能性があります。そのため、「各メーカーは電池寿命の目安である10年に、本体の交換も推奨しています。ご存知でしたか」と尋ねると、「知っていた」という人が108人(32.2%)、「知らなかった」とい

う人が180人(53.6%)、「交換時期がわからない」という人が24人(7.1%)、「交換したことがある」という人が1人(0.3%)、無回答が23人(6.8%)という結果でした。

図2 電池切れの音やランプの点滅について

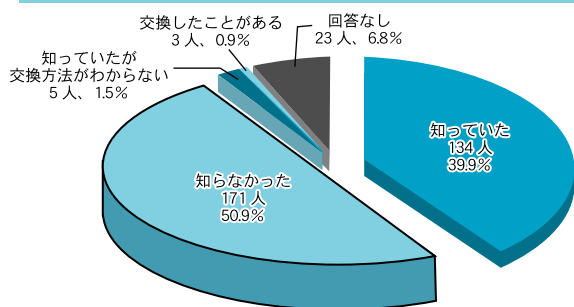
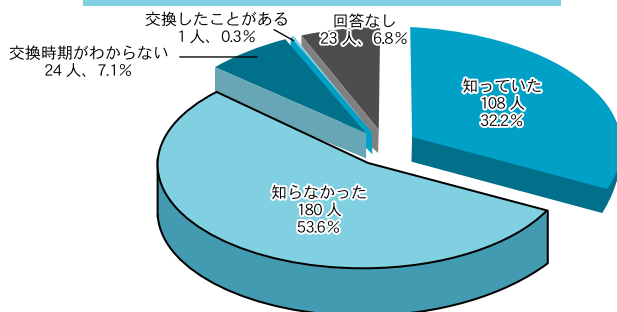


図3 電池寿命や本体の交換について



住警器の奏功事例

住警器の設置義務が普及し始め、全国で『住警器を設置していたため大事に至らずに済んだ』といった情報が報告されています。その様な情報を住民の皆さんに知っていただくことが設置率及び条例適合率の向上に結び付くと考え、今回の調査結果での一例を紹介します。

◎夕飯の支度中、テレビに夢中になり台所から離れていたところ、鍋から煙が上がったが、住警器の音で煙に気づき、大事には至らなかった。

◎アパートの2軒隣の部屋から住警器の音がして行ってみると、鍋が焦げていた。その部屋には、耳の遠いおじいさんが1人暮らしだった。というような例でした。

また今年、南但消防本部管内で発生した建物火災で、住警器の音で近隣住民が火災に気づき、初期消火を行ったことにより、大きな被害にならなかったという事案が2件あり、住警器の大切さがよくわかります。

安全・安心なまちづくりに向けて

全国で、平成26年中に住宅火災で亡くなった方(放火自殺者等を除く)は1002人でした。大切な生命を火災から守るためにも、消防本部では今回の調査結果を踏まえ、住警器の普及啓発をより一層推進すると共に、適正な維持管理についても情報提供を続けて行きます。

そのためにも、消防団や関係機関の協力を得て、住民の皆さんと直接対話する場に積極的に向いて消防教室を行っています。そして、安全・安心なまちづくりに努めていきたいと考えています。

水難・急流救助訓練

朝来消防署、養父消防署の両署で水難・急流救助訓練を行いました。

梅雨や台風時期になるとゲリラ豪雨等により、水による自然災害が起こりやすくなります。当消防本部管内でも過去に洪水による災害や水遊びによる事故が発生しています。川で流されたり、増水で避難できなくなったり人を救助するために、毎年、水難・急流救助訓練を行っています。

水難救助訓練は、救命ボートの素早い組み立てと操船訓練、救命索発射銃・スローバッグの取り扱いを行いました。救命ボートの取り扱い



▲救命ボートの取り扱い訓練



▲浅瀬横断訓練

では、溺者まで安全に接近し、ボートへ引き上げ、救出しました。また救命索発射銃・スローバッグの取り扱い訓練では、溺者へ手がかりとなるロープを的確に投げ込む訓練を行いました。

急流救助訓練では、流水下での基本泳法や安全な浅瀬横断訓練を実施するとともに要救助者に泳いで接触し、救出するライブベイトレスキュー等を行いました。

当本部では、定期的に訓練を行い、いかなる災害に対しても対応できるように努めています。

先日、北関東地方で洪水による大規模な災害が発生しました。今一度、避難場所の再確認等を行い、いつでも避難出来る体制、心構えをよろしくお願いします。

養父市・朝来市 一斉避難訓練

9月6日、養父市・朝来市で各地区の自主防災組織が中心となり、一斉避難訓練が行われました。

当日は、養父市では大型の台風による大規模な水害又は大地震が発生し、朝来市では大地震が発生したという想定でした。

この訓練は過去に一度も訓練が行われていない地区には、地域内の組織化や一時避難所の受け入れ方法などの必要性を理解していた、だくことを、また、訓練を重ねてきた地区には地域内組織の再確認や関係機関等との連絡、連携及び更なる個別訓練を行っていた、だくことを目的に実施されました。



▲和田山町中区搬送訓練



▲和田山町岡田区消火器取扱い訓練

朝来市澤自治会では、一斉避難訓練を実施した後、地震時にすべき事、備えるべき注重点等に関する防災講話が行われました。和田山町岡田区では、防災講話を聞いた後、消火器取扱い訓練を実施し、訓練に参加された子供から大人まで真剣に取り組みされました。また、和田山町中区では、地震に関する講話後、応急担架の作成方法を学んだり、徒手搬送方法を実際に体験しました。その他の地域（和田山町秋葉台4区、山東

町大内区、山東町清水町区等）でも心肺蘇生法や防火講話を行いました。

八鹿地域のモデル区となった九鹿区では、避難所に指定されている八鹿小学校に、自衛隊車両による避難訓練が実施されました。その後AEDを使用した心肺蘇生法や防災グッズ等の展示、また、雨の中、土のう作りの展示も行われました。

養父地域のモデル区となった大藪区では、住民約160名が参加し大地震を想定した訓練が行われました。大藪公民館に避難した後、初期消火や簡易担架の作成・搬送訓練、炊き出し訓練が行われました。



▶八鹿町九鹿区心肺蘇生法

平成27年度 防火ポスター入選発表



『今回のほうつ火ひょうごは、とてもおもしろかったです。お父さんに聞くと、火じになるげんいんをいっしょに考えてみようと言ったのでわたしも考えました。わたしは、火のついたタバコとたき火とタコ足はいせんを描きました。そのままだとすると火じになるものばかりです。私のポスターを見て、みんなが火じを出さないように気を付けてくれたらいいと思います。』

【小学校の部】

福 富 美 咲
糸井小学校2年

福 富 美 咲
糸井小学校2年



最優秀賞

【中学校の部】

佐 々 木 克 聖
生野中学校3年

佐 々 木 克 聖
生野中学校3年



『いつもは標語より絵を中心に考えて描いていました。今回は発想を変えて標語を強調してみました。インパクトのあるポスターになるように文字の大きさや配色を工夫しています。印象に残る標語になれば防火意識を高めることができるのではないかと思います。』

夏休み中に、養父市・朝来市内の小学校及び中学校の児童、生徒から募集した防火ポスターは、総数で1085点（小学校366点、中学校719点）の応募がありました。
9月25日に南但消防本部で行われた審査会の結果、力作ぞろいの作品の中から次の皆さんが入選しました。

特別賞

◆養父市消防団長賞

野 中 悠 汰
竹田小学校6年

野 中 悠 汰
竹田小学校6年

◆朝来市消防団長賞

中 村 舞 希
八鹿青溪中学校2年

中 村 舞 希
八鹿青溪中学校2年

◆南但危険物安全協会長賞

永 田 一 真
生野中学校1年

永 田 一 真
生野中学校1年

小学校の部

◆優秀賞

- 越智 羽音 (竹田 1年)
- 田中 優輝 (大蔵 3年)
- 勝山 百音 (梁瀬 3年)
- 西井 春乃 (宿南 4年)
- 小林 里菜 (枚田 4年)

◆入賞

- 山根 梓乃 (梁瀬 6年)
- 池田陵空斗 (伊佐 1年)
- 加芝 美和 (八鹿 2年)
- 繁田 夢菜 (糸井 2年)
- 石谷 隆明 (糸井 3年)
- 佐野 光紀 (梁瀬 3年)
- 梅田 祥太 (関宮 4年)
- 和田 慶斗 (東河 4年)
- 中屋 結花 (山口 4年)
- 森本 泰耀 (伊佐 5年)
- 服部 太一 (養父 5年)
- 田上 綾音 (生野 5年)
- 田中 伶 (梁瀬 5年)
- 吉谷 和真 (八鹿 6年)
- 中野恵多郎 (広谷 6年)
- 明楽 一樹 (広谷 6年)
- 荒垣 優斗 (広谷 6年)
- 小田垣彩香 (梁瀬 6年)
- 福田 健佑 (梁瀬 6年)
- 小林 夢奈 (八鹿 5年)
- 椿野 彩葉 (山口 5年)
- 羽瀨 祐斗 (大屋 6年)
- 細井のどか (梁瀬 6年)
- 山根 梓乃 (梁瀬 6年)
- 松原 陸桃 (和田山 1年)
- 向井 健太 (生野 1年)
- 石田 心音 (大屋 1年)
- 藤原 凛 (和田山 1年)
- 秋山 遥海 (朝来 1年)
- 高藤 梓 (養父 2年)
- 奥山 果那 (和田山 2年)
- 細川恵理菜 (生野 3年)
- 松原 陸桃 (和田山 1年)
- 向井 健太 (生野 1年)
- 石田 心音 (大屋 1年)
- 藤原 凛 (和田山 1年)
- 秋山 遥海 (朝来 1年)
- 高藤 梓 (養父 2年)
- 奥山 果那 (和田山 2年)
- 細川恵理菜 (生野 3年)

中学校の部

◆優秀賞

- 藤原 凛 (和田山 1年)
- 秋山 遥海 (朝来 1年)
- 高藤 梓 (養父 2年)
- 奥山 果那 (和田山 2年)
- 細川恵理菜 (生野 3年)
- 松原 陸桃 (和田山 1年)
- 向井 健太 (生野 1年)
- 石田 心音 (大屋 1年)
- 藤原 凛 (和田山 1年)
- 秋山 遥海 (朝来 1年)
- 高藤 梓 (養父 2年)
- 奥山 果那 (和田山 2年)
- 細川恵理菜 (生野 3年)

審査員所感

- 田路 空奏 (朝来 1年)
- 高品 澄佳 (八鹿青溪 2年)
- 北垣 颯汰 (大屋 2年)
- 豊田 大晟 (和田山 2年)
- 福田 栞和 (梁瀬 2年)
- 村上 龍司 (養父 3年)
- 羽瀨 亜美 (大屋 3年)
- 松本 香凛 (生野 3年)
- 平山 沙羅 (朝来 3年)

今年も千点を超える防火ポスターが寄せられました。どの作品も力作ぞろいで審査会も盛況の内に終わり、私自身も子供たちの表現力や発想力の豊かさ到大変刺激を受けました。
福富美咲さんの作品は明るい色彩で目を引く発信力のあるポスターです。女の子やかくれんぼをしている炎も表情豊かで好感が持てます。
佐々木克聖さんの作品は、文字のレイアウトによる効果とシンブルながらもこだわりを感じる配色でインパクトの大きいポスターです。
いずれの入賞作品も防火がいかに大切なことであるかを喚起させてくれるものばかりでした。

養父市立八鹿青溪中学校
柴田奈保子

消防写真館



消防訓練

(9月18日 養父市やぶ保健センター)

養父市やぶ保健センターで、消防訓練が行われました。園児が見守る中、職員の皆さんは消火器を使用した訓練を積極的に行いました。



消防教室

(9月16日 朝来子育て学習センター)

朝来子育て学習センターから消防署見学に来てくれました。煙の体験や大好きな消防車と救急車の体験乗車をしました。



普通救命講習会

(9月17日 ママの働きかた応援隊養父学級)

ママの働きかた応援隊養父学級の皆さんが、小児対象の普通救命講習会を受講されました。母子6組が参加し、心肺蘇生法を熱心に取り組みられました。



避難訓練 (10月1日 生野中学校)

地震の後、火災が発生した想定で避難訓練を行いました。ハンカチで口をおさえ、低い姿勢で避難しました。また、避難訓練後には生徒代表が水消火器の使い方を学び、放水しました。

※昨年に引き続き件数増加
救急件数は2357件で、前年同期と比較すると、49件増加しています。

救急

種別	署別	総数	朝来署	養父署
総数		23 (28)	11 (18)	12 (10)
建物		14	7	7
林野		1	1	0
車両		2	1	1
その他		6	2	4

()内は前年同期件数

※件数減少、建物火災は増加
出火件数は両市合わせて23件で、前年同期と比較すると5件減少しています。種別で見ると、建物火災は2件増加しており、死者が3人発生する等、大きな被害が発生しています。

火災

消防白書

平成27年
1月～9月

種別	署別	総数	朝来署	養父署	管外
総数		60 (45)	23 (18)	36 (27)	1 (0)
交通事故		35	13	21	1
火災		3	0	3	0
水難		3	2	1	0
その他		19	8	11	0

()内は前年同期件数

※件数、救助人員ともに増加
救助件数は60件で、前年同期と比較すると、15件増加しています。

救助

種別	署別	総数	朝来署	養父署	管外
総数		2,357 (2,308)	1,177 (1,185)	1,178 (1,120)	2 (3)
急病		1,345	677	668	0
交通事故		221	124	95	2
一般負傷		380	196	184	0
その他		411	180	231	0

()内は前年同期件数

人命救助・火災消火協力者に感謝状

交通事故現場において適切で迅速な人命救助活動を行ったとして7月17日、朝来市和田山町の清水保さんに、8月10日、養父市大屋町の藤岡純典さんにそれぞれ感謝状と記念品が贈呈されました。お二人の活動は次のとおりです。

6月23日18時50分頃、朝来市和田山町の国道9号線でトラックと乗用車の衝突事故が発生しました。近くの自宅にて事故に気付いた清水さんは事故現場に駆けつけ、横転して煙の出ているトラックのフロントガラスを破壊して運転席に閉じ込められている女性を車外に救出、トラックのエンジンを停止させ、二次災害も防止しました。清水さんは「運転手の助けを求める姿が見えとつさに判断した。運転手が無事でよかった。」と話していました。

7月20日11時40分頃、養父市大屋町の県道でバイクが道路脇の側壁に衝突、男性が道路沿いの明延川に転落する事故が発生しました。ちょうど現場を通りかかった藤岡さんは、状況から重大事故

と判断し川に入り、足に大けがをしている男性を川岸でささえ、タオルで足を止血し、救急隊が到着するまで男性に声をかけながら励まし続けました。事故当時、川は台風の影響で増水しており藤岡さんの勇敢で適切な行動がなければ最悪の場合、男性は川に流される恐れがありました。

清水さん、藤岡さん両名の勇敢な人命救助のおかげで、尊い命が助かりました。本当にありがとうございます。



▲清水 保さん(左)



▲藤岡 純典さん

6月6日9時15分頃養父市大屋町で住宅火災が発生しました。第一発見者の羽瀨代志美さんは、大声で近所に火災を知らせ、その声に気が付いた羽瀨昭司さんは、妻の和代さんに消防への通報を指示し、消火器を手に住宅内に入り消火にあたりました。同じく火災現場にかけつけた池田康則さんは、2階で興奮状態にあった家人の高齢女性を発見し外に連れ出し保護しました。近隣住民による連携プレーで被害を最小限にとどめた4人（1人欠席）の方に感謝状と記念品が贈呈されました。

近所の方々の連携により、尊い命と、火災の損害を最小限に抑えることが出来ました。本当にありがとうございます。



▲右から羽瀨昭司さん・和代さん夫妻、羽瀨代志美さん

火災調査レポート

プラスチック製使い捨てライターは危険、ごみです！

今年の3月に、南但クリーンセンターでプラスチック製使い捨てライターが起因する爆発火災が発生しました。

その原因は、従来プラスチック製使い捨てライターの処理方法について、残ガスを抜いた後に可燃ごみとして処理することになっていましたが、残ガスが抜かれないまま大量に可燃ごみとして出され、南但クリーンセンターでゴミ処理作業中、破砕機の中で砕かれたライターのガスが漏れて滞留し、内部で発生した火花により引火爆発して破砕機を破損したものです。

また、平成25年の火災事例を見ますと、スプレー缶の残ガス処理がされていないまま不燃ごみに出され、ごみ収集車の荷台の中でガスが漏れて火災になった例が養父市・朝来市管内で各1件発生しています。



▲破砕機の中から出た使い捨てライターの残骸

全国的にも、プラスチック製使い捨てライターやスプレー缶等の可燃性ガスが起因するごみの処理施設やごみ収集車の火災が多く発生し、後を絶ちません。人命に関係する事故に繋がる可能性もありますので、次の出し方を守ってください。

- ◆プラスチック製使い捨てライターは危険ごみとして出す。
- ◆スプレー缶は必ず残ガスを抜いて、不燃ごみとして出す。

INFORMATION

お知らせ

新入職員紹介



平成27年4月から新しく7名の職員を採用しました。4月からの半年間、三木市の兵庫県消防学校において消防の基礎となる初任科研修を終え、一人前の消防人として帰任しました。

上段右から
 消防士 田村 和也
 消防士 椿本 元氣
 消防士 蘆田 淳
 消防士 森下 広大
 下段右から
 消防士 中村 寛
 消防士 丸山 美穂
 消防士 杠 銀次郎

私は、南但消防本部で初の女性消防職員として、兵庫県消防学校に入学し、消防士としての知識、技術、気力、規律等を学んできました。これからは、どんな状況でも冷静且つ的確な現場活動ができるよう日々精進し、住民の皆様が笑顔で暮らせるまちづくりを目指します。

丸山 美穂

◆危険物取扱者試験

- 試験日 平成28年2月7日(日)
 - 受付期間(書面申請) 平成27年12月4日(金)～12月16日(水)
 - 種別 甲、乙、丙
- 願書配布は、南但消防本部 朝来消防署、養父消防署、生野出張所、大屋出張所で行っています。

無防備な 心に火災が かくれんぼ



11月9日～11月15日

主な行事予定

- 一日消防官 管内保育園・こども園
- 消防訓練 関宮・和田山・山東
- 立入検査等 旅館・危険物施設の査察
- 消防教室 事業所・各地区
- 広報活動 防火ポスターの配布
- 防火研修 管内の旅館・ホテル

◆秋の火災予防運動

しかし以前には、1925年に北但馬地震(M6.8)死者は430名、家屋の全半壊は400棟に及び、豊岡では焼失家屋が2300棟を超え、町の半分が焼失したそうです。また1927年に北丹後地震(M7.3)死者は2900名余、家屋の全半壊は22000棟に登り、2300棟が焼失したそうです。

編集手帳

但馬地方に住む私達にとっては、東日本に比べ地震の揺れを感じる機会も少なく、どうしても地震の少ない地域としてとらえているような気がします。

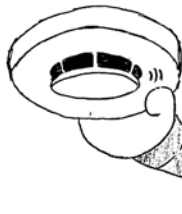
この2つの地震は南海地震(1946年、M8.0)と東南海地震(1944年、M7.9)の先駆けとなった地震ではないかと考えられ、今まで起きた南海トラフ地震の数十年前から西日本で直下型地震が頻発していたようです。

30年以内に南海トラフ地震が60～70%の確率で発生するといわれている中で、北但馬地震、北丹後地震のような被害を少しでも軽減するために、日頃からの地震に対する備えが重要となります。

ゴローくん



ブーン



住宅用の火災警報器の設置が義務化されています!!

奥さん、住警器付けてないと罰金になりますよ～。

そ、そんなあ～…。

ど～も。悪徳業者です。



このような悪徳業者には、くれぐれも注意してください。



ブシュー!

あんた、だまされとったんかいっ



でないと、私にだまされてしまいますよ!

おわり

NANTAN 119だより

NANTAN 119だより第8号

2015年11月1日発行 (年3回発行)

- 発行・編集 南但消防本部予防課 兵庫朝来市 和田山町牧田436-1
- TEL 079-672-0119
- FAX 079-672-5046

南但消防本部